

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ禍であったという事もあり、行きつけの店などの馴染みの場所の利用が難しかった。コロナも収束傾向にある現在、美容室等の馴染みの場所の利用を考えていく必要がある。	コロナ禍以前に利用していた馴染みの店の利用を行っていく。	可能な方から元々利用していた行きつけの美容室や馴染みの店へ外出し、利用する。	12ヶ月
2	57	利用者と職員が会話を楽しんだり、一緒に外の景色を見たりする場面はあるが、感染症予防の観点からイベント時や茶話会等で職員も一緒に飲食を伴うような時間の過ごし方が出来ていない。	感染症の流行情報を確認しながら出来るだけイベントの場面などでは、職員も一緒に飲食を楽しめるようにする。	イベント時や茶話会等を開催する際には、感染症の流行情報を確認しつつ、職員も一緒に飲食を伴い時間を共有する時間を取り入れ、暮らしを共にする関係性をより強固なものにしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。